

事業番号	★ D 23 - 2 - 49
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	集団移転跡地利活用事業（荒浜地区：排水施設等調査・計画）
全体事業費	73,151（千円）
<p><事業概要> 本市における東部地域防災集団移転促進事業（平成28年度完了）の移転跡地については、平成27年度から被災者の思いをくみ取りながら有効活用を図るべく具体的な検討を開始し、平成29年3月に「集団移転跡地利活用方針」を公表した。 この方針に基づき、民間の自由な発想や提案を最大限に活かすため、平成29年9月に本市が目指す東部沿岸部の「新たな魅力の場」の創出に資する事業提案を公募し、移転跡地の利活用を進めている。 本事業は、移転跡地のうち荒浜地区において、地盤沈下等により失われた排水機能を再生するための調査・計画策定を行うもの。</p> <p><事業費> ・ 集団移転跡地（荒浜地区）測量・雨水排水計画策定業務委託 73,151千円（今回協議分） ①測量業務 1式 ②雨水排水計画 1式</p> <p><基幹事業との関連性> 集団移転跡地に係る事業は、移転跡地を活用することにより、防集移転者の雇用の創出や新たな生業への参入を促進するとともに、地域の憩いの場の創出により、賑わいや交流を再生させるものである。</p> <p><集団移転跡地利活用事業のこれまでの市街地復興効果促進事業活用状況> ・ 集団移転跡地利活用方針検討業務委託 10,000千円（H28.9.23 使途協議済み） ・ 集団移転跡地用地調査検討業務委託 31,000千円（H29.2.10 使途協議済み） ・ 集団移転跡地利活用事業者公募選定業務委託 10,000千円（H29.4.12 使途協議済み）</p> <p><東日本大震災の被害との関係> 本市の東部沿岸地域は、東日本大震災に伴う津波で家屋が流出するなど、甚大な被害を受け、そのほとんどの地域が災害危険区域となっており、設定された移転促進区域から内陸側の防集団地へ集団移転している。 荒浜地区の移転跡地は震災による広域地盤沈下により既存排水施設の機能が確保できず、雨水の自然排水が困難な状況となっている。</p>	